

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
伊万里市	黒川地区(横野集落)	令和3年11月11日	

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	9.8ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	9.8ha
③地区内における70歳以上の農業者の耕地面積の合計	5.5ha
i うち後継者未定の農業者の耕地面積の合計	4.5ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0ha
④地区内において、今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0ha
(備考)	

2 対象地区の課題

<p>○一筆毎の将来営農意向調査(6~10年後)を実施した結果、約4haの農地において貸付意向が示されており、その受け手の確保が課題となっている。</p> <p>○地区内の現在の農業者では、全ての委託希望は受けることができないため、集落内または集落外からの担い手の確保を図る取り組みが必要である。</p> <p>○有害鳥獣による農作物被害が深刻化している。</p>
--

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

<p>集落内で円滑な世代交代を図ることで、担い手を確保し、耕作を継続していく。</p> <p>もし、担い手が不足する場合は、中心経営体ではないが集落内の規模拡大志向農業者に農地集積を進め、地域全体における営農継続を図っていく。</p>

■集落における中心経営体

属性	農業者	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営作目	経営面積	経営作目	経営面積	農業を営む範囲
	中心経営体数 0					

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

【農地の貸付意向】

アンケート結果等により農地の貸付意向が示された農地は67筆、38,924㎡である。

【鳥獣被害防止対策の実施】

近年、中山間地域を中心にイノシシ等の被害が増加しているため、巡回班の設置による既設の防護柵の定期点検や地区内の地図を活用して新たな被害発生場所を特定し、新規設置等の検討を行う。

【中山間地域等直接支払交付金・多面的機能支払交付金制度の活用方針】

当該交付金を今後も積極的に活用し、農地・水路・農道などの維持管理を図る。

【後継世代への円滑な継承】

各家庭で後継世代との意思疎通や若者との意見交換会等の実施により、農業生産の喜びや関心を持つように仕向ける。また、水道工事による生活・農業環境の整備や婚活世話役の設置などにより、若者が住みやすい・残りやすい集落づくりを行う。